第１　危険物施設等の概要

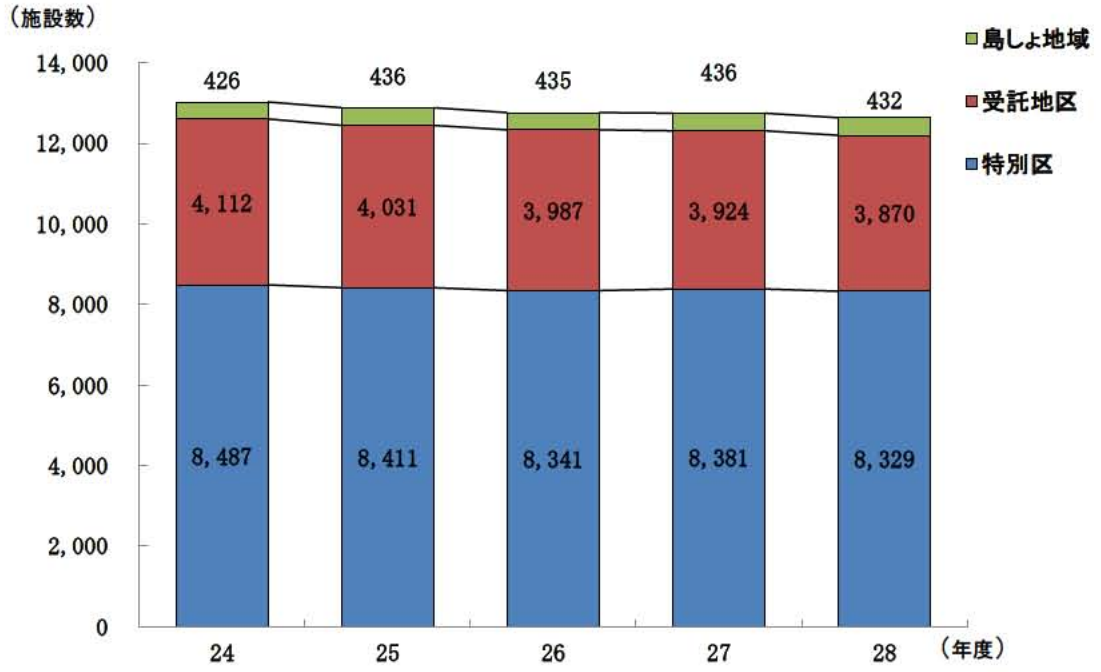
東京消防庁管内では、法で規制する危険物の貯蔵又は取扱いを行う施設の総数が年々減少しています。本項目では、危険物関連施設に関わる数字に着目し、年度毎の施設数の推移、各区市町村ごとの施設数、危険物施設区分別の施設数、危険物の取扱数量、許可倍数別の施設数等について様々な視点から分析しています。

１　危険物施設等の実態

東京消防庁管内及び島しょ地域における危険物施設（危険物を貯蔵し、又は取り扱う製造所、貯蔵所及び取扱所をいう。以下同じ。）の総数は１２，６３１施設で、前年と比較すると１１０施設減少しています（第１表、第１図参照）。

第１表　危険物施設等の状況（最近５年間）

年度	危険物施設数					少量危険物貯蔵取扱所数			指定可燃物貯蔵取扱所数		
	合計	東京消防庁管内			島しょ地域	合計	特別区	受託地区	合計	特別区	受託地区
		小計	特別区	受託地区							
24	13,025	12,599	8,487	4,112	426	25,184	16,899	8,285	5,686	4,594	1,092
25	12,878	12,442	8,411	4,031	436	25,420	17,091	8,329	5,741	4,602	1,139
26	12,763	12,328	8,341	3,987	435	25,860	17,302	8,558	5,799	4,639	1,160
27	12,741	12,305	8,381	3,924	436	26,330	17,646	8,684	5,863	4,663	1,200
28	**12,631**	**12,199**	**8,329**	**3,870**	**432**	**26,620**	**17,820**	**8,800**	**5,903**	**4,679**	**1,224**

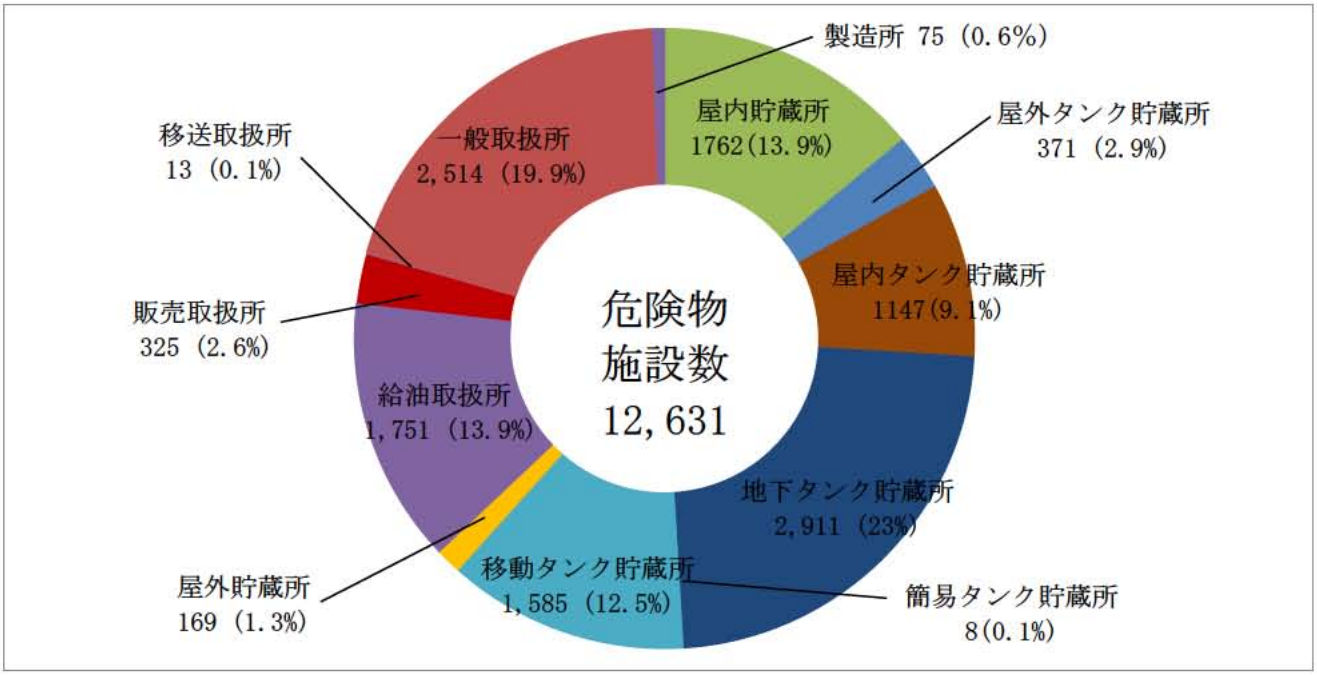


第１図　危険物施設数の推移（最近５年間）

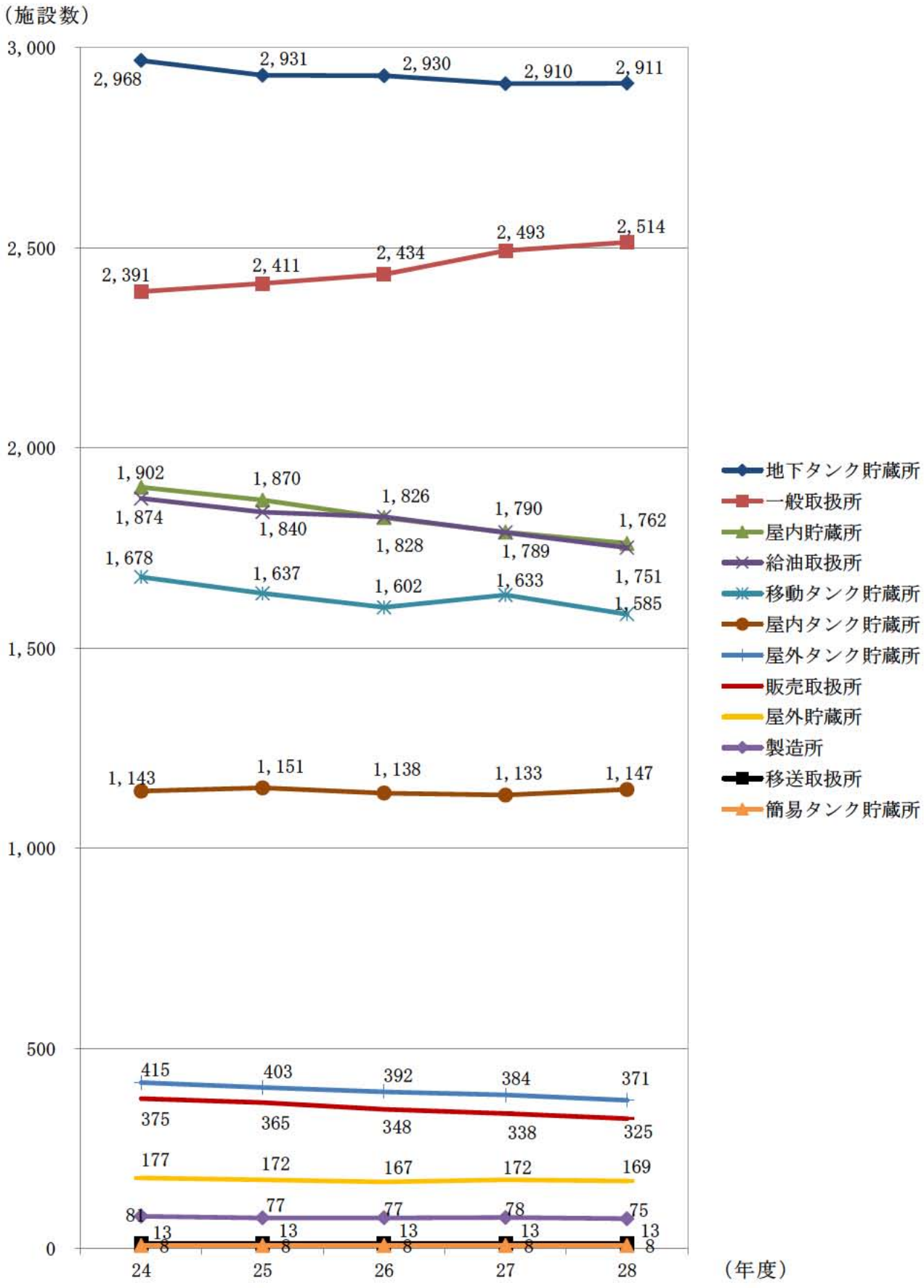
２　危険物施設の状況

(1)　施設区分別にみた危険物施設

危険物施設は、それぞれの施設形態ごとに区分されています。平成 29 年３月末現在の危険物施設を区分別にみると、地下タンク貯蔵所が 2,911 施設と最も多く、次いで一般取扱所の 2,514 施設、屋内貯蔵所の 1,762 施設の順となっています（第２図、第３図参照）。



第２図　危険物施設の施設区分別構成（平成 29 年３月末現在）



第３図　施設区分別の危険物施設数の推移（最近５年間）

⑵　危険物施設の分布状況

危険物施設数を区市町村別にみると、特別区では千代田区の719施設が最も多く、次いで大田区の702施設、江東区の701施設の順となっています。これらの地域のうち港湾、河川等に面するものは工業地域が多く、船舶から危険物を受け入れる油槽所、火力発電所などがあることから、必然的に施設も大規模なものとなっています。

一方、地域面積を考慮した施設密度（施設数／㎢）の高いものからみると、千代田区の61.8が最も高く、次いで中央区 46.5、港区 32.4 の順となっています（第２表参照）。これら都心部の地域には屋内タンク貯蔵所、地下タンク貯蔵所、一般取扱所等の施設が多く、その大部分がビルの自家発電用燃料の貯蔵取扱施設及び暖房用燃料です。

また、受託地区では、八王子市の 704 施設が最も多く、次いで青梅市の 285 施設、町田市の 257 施設の順となっています。島しょ地域では、小笠原村の 132 施設、大島町の 87 施設、八丈町の 73 施設の順となっています（第２表参照）。

第２表　区市町村別の危険物施設数と施設密度（平成 29 年 3 月末現在）

特別区	施設数	密度
千代田区	719	61.8
中央区	473	46.5
港　区	660	32.4
品川区	560	24.6
大田区	702	11.6
目黒区	137	9.3
世田谷区	311	5.4
渋谷区	273	18.1
新宿区	373	20.5
中野区	77	4.9
杉並区	113	3.3
文京区	179	15.8
豊島区	122	9.4
北　区	271	13.2
板橋区	384	11.9
練馬区	241	5.0
台東区	147	14.6
荒川区	193	18.9
足立区	562	10.6
墨田区	311	22.6
江東区	701	17.5
葛飾区	293	8.4
江戸川区	527	10.6

受託地区	施設数	密度
立川市	229	9.4
国立市	52	6.4
昭島市	195	11.3
国分寺市	37	3.2
小金井市	41	3.6
小平市	167	8.2
武蔵野市	43	4.0
東久留米市	100	7.7
西東京市	76	4.8
三鷹市	139	8.4
調布市	138	6.4
府中市	250	8.5
東村山市	102	5.9
狛江市	17	2.7
東大和市	45	3.3
武蔵村山市	78	5.1
清瀬市	35	3.4
八王子市	704	3.8
日野市	155	5.6
町田市	257	3.6
青梅市	285	2.8
福生市	68	6.6
羽村市	132	13.3

受託地区	施設数	密度
瑞穂町	163	9.7
あきる野市	144	2.0
日の出町	45	1.6
檜原村	15	0.1
奥多摩町	42	0.2
多摩市	116	5.5

島しょ地域	施設数	密度
大島町	87	1.0
利島村	11	2.7
新島村	40	1.4
神津島村	25	1.3
三宅村	49	0.9
御蔵島村	9	0.4
八丈町	73	1.0
青ヶ島村	6	1.0
小笠原村	132	1.3

危険物施設数を所管する消防署別にみると、八王子消防署の 704 施設が最も多く、次いで深川消防署の 409 施設、福生消防署の 363 施設の順となっています（第３表参照）。

第３表　消防署別の危険物施設数（平成 29 年３月末現在）

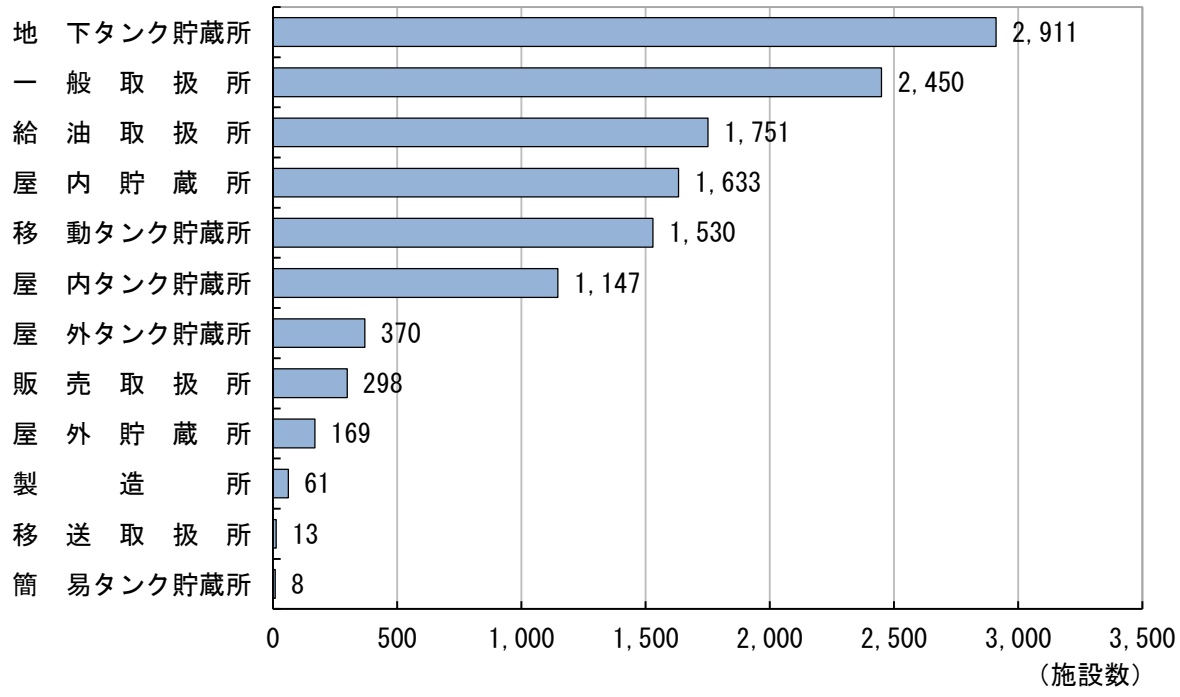
署	施設数	署	施設数	署	施設数	署	施設数	署	施設数
丸の内	355	目黒	134	赤羽	118	深川	409	狛江	17
麹町	235	世田谷	114	滝野川	86	城東	292	北多摩西部	123
神田	128	玉川	84	板橋	84	本田	227	清瀬	35
京橋	190	成城	116	志村	300	金町	66	東久留米	100
日本橋	177	渋谷	273	練馬	72	江戸川	179	西東京	76
臨港	107	四谷	47	光が丘	78	葛西	246	八王子	704
芝	296	牛込	109	石神井	91	小岩	102	青梅	285
麻布	95	新宿	217	上野	56	立川	281	町田	257
赤坂	122	中野	51	浅草	43	武蔵野	43	日野	155
高輪	147	野方	26	日本堤	48	三鷹	139	福生	363
品川	222	杉並	64	荒川	108	府中	251	多摩	116
大井	284	荻窪	49	尾久	85	昭島	195	秋川	204
荏原	54	小石川	86	千住	103	調布	138	奥多摩	42
大森	261	本郷	93	足立	221	小金井	40	島しょ地域	432
田園調布	65	豊島	86	西新井	238	小平	167	**合計**	**12,631**
蒲田	318	池袋	36	本所	107	東村山	102		
矢口	58	王子	67	向島	204	国分寺	37		

⑶　類別にみた危険物施設

危険物施設で貯蔵し、又は取り扱う危険物を類別にみると、第４類の危険物のみを貯蔵し、又は取り扱う施設が 12,341 施設で最も多く、全体の 97.7%を占めています（第４表参照)。第４類の危険物のみを貯蔵し、又は取り扱う危険物施設としては、地下タンク貯蔵所の 2,911 施設（23.6%）が最も多く、次いで一般取扱所が 2,450 施設（19.9%)、給油取扱所が 1,751 施設（14.2%）の順となっています（第４図参照)。

第４表　類別の危険物施設数（平成 29 年 3 月末現在）

施設別＼類別		合計	第１類	第２類	第３類	第４類	第５類	第６類	混　在
製　造　所		75	1	0	1	61	1	0	11
貯蔵所	屋内貯蔵所	1,762	12	10	1	1,633	3	1	102
	屋外タンク貯蔵所	371	0	0	0	370	0	1	0
	屋内タンク貯蔵所	1,147	0	0	0	1,147	0	0	0
	地下タンク貯蔵所	2,911	0	0	0	2,911	0	0	0
	簡易タンク貯蔵所	8	0	0	0	8	0	0	0
	移動タンク貯蔵所	1,585	0	1	2	1,530	0	0	52
	屋外貯蔵所	169	0	0	0	169	0	0	0
取扱所	給油取扱所	1,751	0	0	0	1,751	0	0	0
	販売取扱所	325	3	0	0	298	0	0	24
	移送取扱所	13	0	0	0	13	0	0	0
	一般取扱所	2,514	1	0	0	2,450	1	1	61
合　計		12,631	17	11	4	12,341	5	3	250



第４図　第４類危険物のみを貯蔵・取り扱う危険物施設数（平成 29 年 3 月末現在）

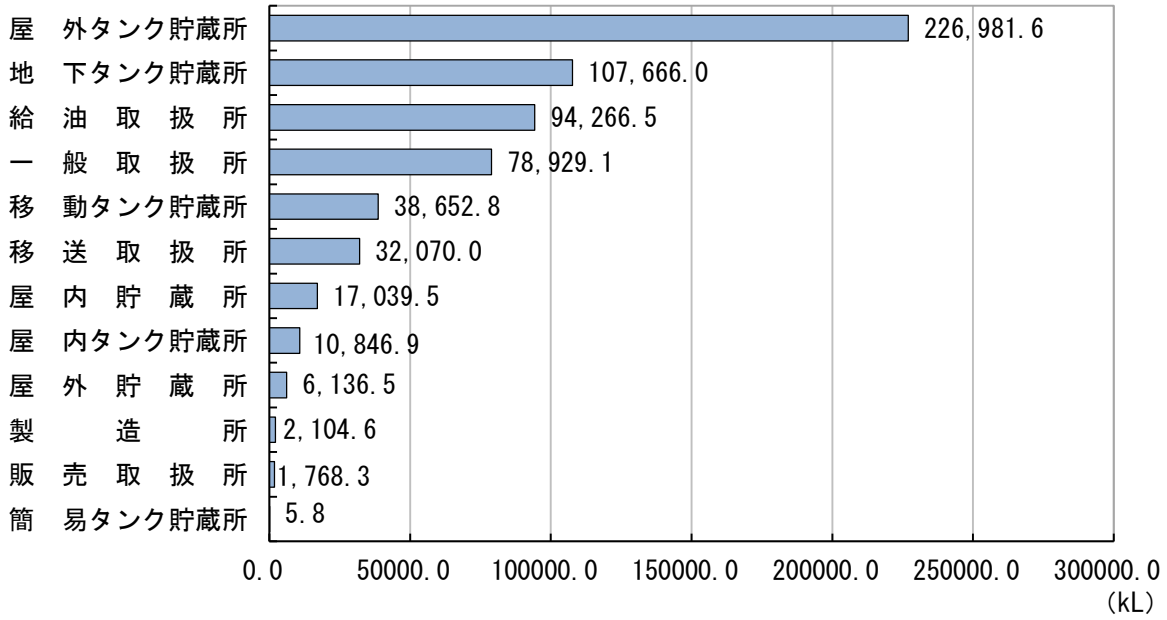
危険物施設で貯蔵し、又は取り扱う危険物の許可数量を類別に見ると、第５表のとおりであり、第４類の危険物が 616,467.6ｋＬで、第２類が 891.8 千 kg、第３類が 235.4 千 kg となっています（第５表参照）。

第５表　類別の許可数量（平成 29 年 3 月末現在）

施設別＼類別		第１類	第２類	第３類	第４類	第５類	第６類
製造所		2.4	2.9	0.1	2,104.6	17.8	0.3
貯蔵所	屋内貯蔵所	96.2	160.1	2.3	17,039.5	19.2	4.6
	屋外タンク貯蔵所	0	0	0	226,981.6	0	17.9
	屋内タンク貯蔵所	0	0	0	10,846.9	0	0
	地下タンク貯蔵所	0	0	0	107,666.0	0	0
	簡易タンク貯蔵所	0	0	0	5.8	0	0
	移動タンク貯蔵所	8.9	247.6	1.3	38,652.8	0	102.3
	屋外貯蔵所	0	0	0	6,136.5	0	0
取扱所	給油取扱所	0	0	0	94,266.5	0	0
	販売取扱所	17.4	10.1	0.2	1,768.3	0.1	1.7
	移送取扱所	0	0	0	32,070.0	0	0
	一般取扱所	18.9	471.1	231.5	78,929.1	12.5	3.8
合計		**143.8**	**891.8**	**235.4**	**616,467.6**	**49.6**	**130.6**

※ 単位は、第４類はｋＬ、その他は千kg

施設区分別にみた第４類危険物の許可数量は、屋外タンク貯蔵所が 226,981.6kL（36.8%）で最も多く、次いで地下タンク貯蔵所が 107,666.0kL（17.5%）、給油取扱所が 94,266.5kL（15.3%）の順となっています（第５表、第５図参照）。



第５図　施設区分別にみた第４類危険物の許可数量（平成 29 年 3 月末現在）

危険物のうち、その大部分を占めるのは石油製品です。都内における最近５年間の石油製品の消費量は第６表のとおりです。

第６表　都内における石油製品の消費量（平成 29 年 3 月末現在）

区分／年度	合計	ガソリン	灯　油	軽　油	重　油	潤滑油	ナフサ・ジェット燃料油
24	**2,259**	792	356	427	395	9	280
25	**2,156**	739	311	433	334	8	331
26	**2,089**	674	266	390	287	9	463
27	**2,051**	716	241	400	314	8	372
28	**1,990**	**665**	**223**	**392**	**301**	**8**	**401**

※１　資料：石油連盟「都道府県別石油製品販売総括《速報》2016 年 04 月～2017 年 03 月」
　２　単位：万 kL

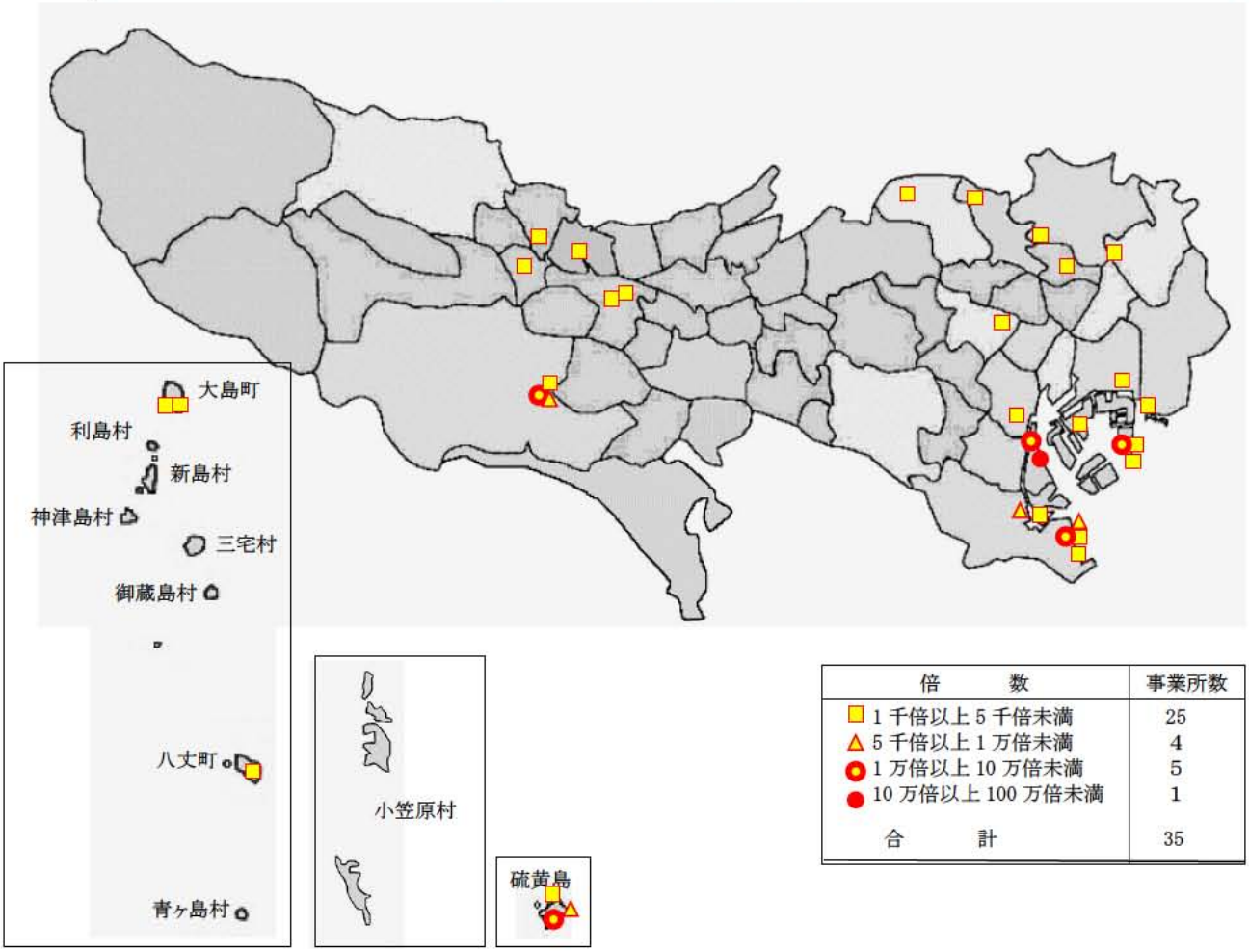
⑷　許可倍数別にみた危険物施設

平成 29 年 3 月末現在の危険物施設数を許可倍数別にみると、10 倍以下の施設は 7,622 施設（60.3%）で、全体の 6 割以上を占めています（第 7 表参照）。

また、許可倍数が 1,000 倍以上の施設を有する事業所は 35 事業所となっています（第 6 図参照）。

第 7 表　許可倍数別の危険物施設数（平成 29 年 3 月末現在）

許可倍数＼年度	24	25	26	27	28
5 倍以下	5,276	5,185	5,107	5,040	4,958
5 倍を超え 10 倍以下	2,685	2,664	2,630	2,656	2,664
10 倍を超え 50 倍以下	2,784	2,794	2,806	2,815	2,809
50 倍を超え 100 倍以下	776	763	762	773	763
100 倍を超え 150 倍以下	366	359	349	343	340
150 倍を超え 200 倍以下	287	280	266	265	258
200 倍を超え 1,000 倍以下	778	765	776	777	769
1,000 倍を超え 5,000 倍以下	45	40	39	44	43
5,000 倍を超え 10,000 倍以下	16	16	16	16	16
10,000 倍を超えるもの	12	12	12	12	11
合　計	13,025	12,878	12,763	12,741	12,631



第 6 図　許可倍数が 1,000 倍以上の危険物施設を有する事業所（平成 29 年 3 月末現在）

3　少量危険物貯蔵取扱所、指定可燃物貯蔵取扱所の状況

平成 29 年 3 月末現在の少量危険物貯蔵取扱所数は 26,620 施設で、前年と比較すると 290 施設増加しており、その内訳をみると第８表のようになります（第７図参照）。

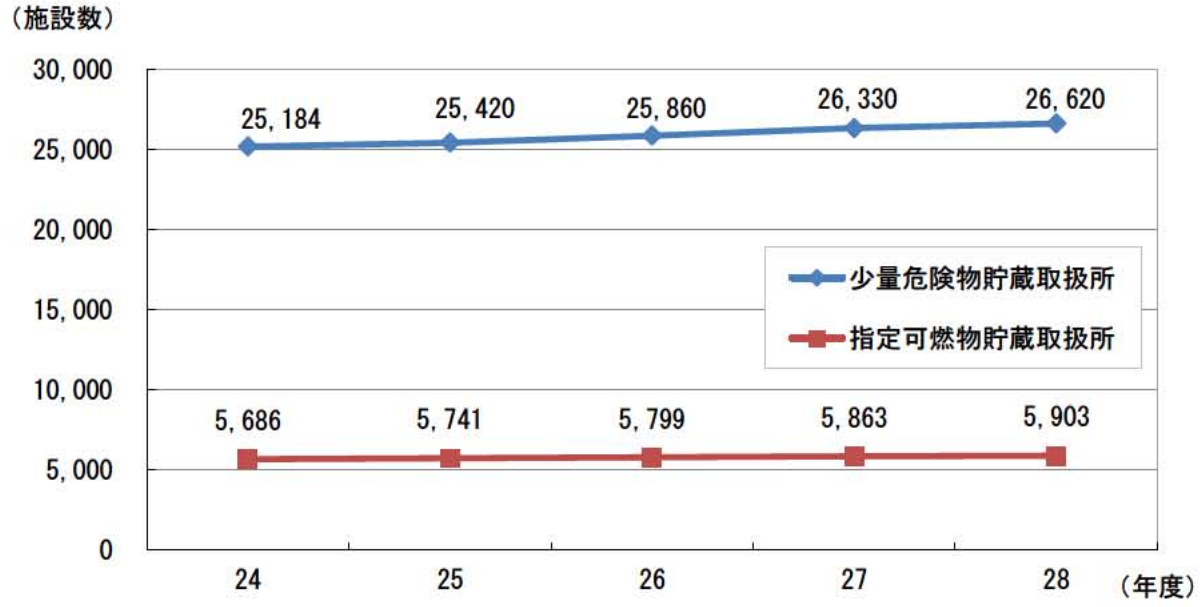
また、指定可燃物貯蔵取扱所数は 5,903 施設で、前年と比較すると 40 施設増加しており、その内訳をみると第９表のようになります。最近５年間の施設数の推移は第７図のようになります。

第８表　少量危険物貯蔵取扱所の施設数
（平成 29 年 3 月末現在）

施設形態	施設数
屋内貯蔵	10,884
屋外貯蔵	492
屋内タンク	4,131
屋外タンク	3,170
地下タンク	1,240
移動タンク	1,044
その他	5,659
合計	**26,620**

第９表　指定可燃物貯蔵取扱所の施設数
（平成 29 年 3 月末現在）

貯蔵取扱品名		施設数
綿花類		77
木毛・かんなくず		25
ぼろ・紙くず		264
糸類		35
わら類		32
再生資源燃料		16
可燃性固体類		318
石炭・木炭類		71
可燃性液体類		241
木材加工品・木くず		1,727
合成樹脂類	発泡させたもの	169
	その他のもの	939
紙類		1,721
穀物類		96
布類		172
合計		**5,903**



第７図　少量危険物及び指定可燃物貯蔵取扱所の施設数の推移（最近５年間）